

【令和3年度第1回農村振興施策検討委員会】

農山漁村なりわい課の令和3年度業務概要について

- |   |                                  |      |
|---|----------------------------------|------|
| 1 | 令和3年度の事業について                     | 【P1】 |
| 2 | 令和3年度の施策体系概要について                 | 【P2】 |
|   | ○令和のむらづくり推進事業の概要                 | 【P4】 |
|   | ○地域資源・キャリア人材フル活用事業               | 【P5】 |
|   | ○みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション<br>推進事業 | 【P7】 |

宮城県農政部農山漁村なりわい課

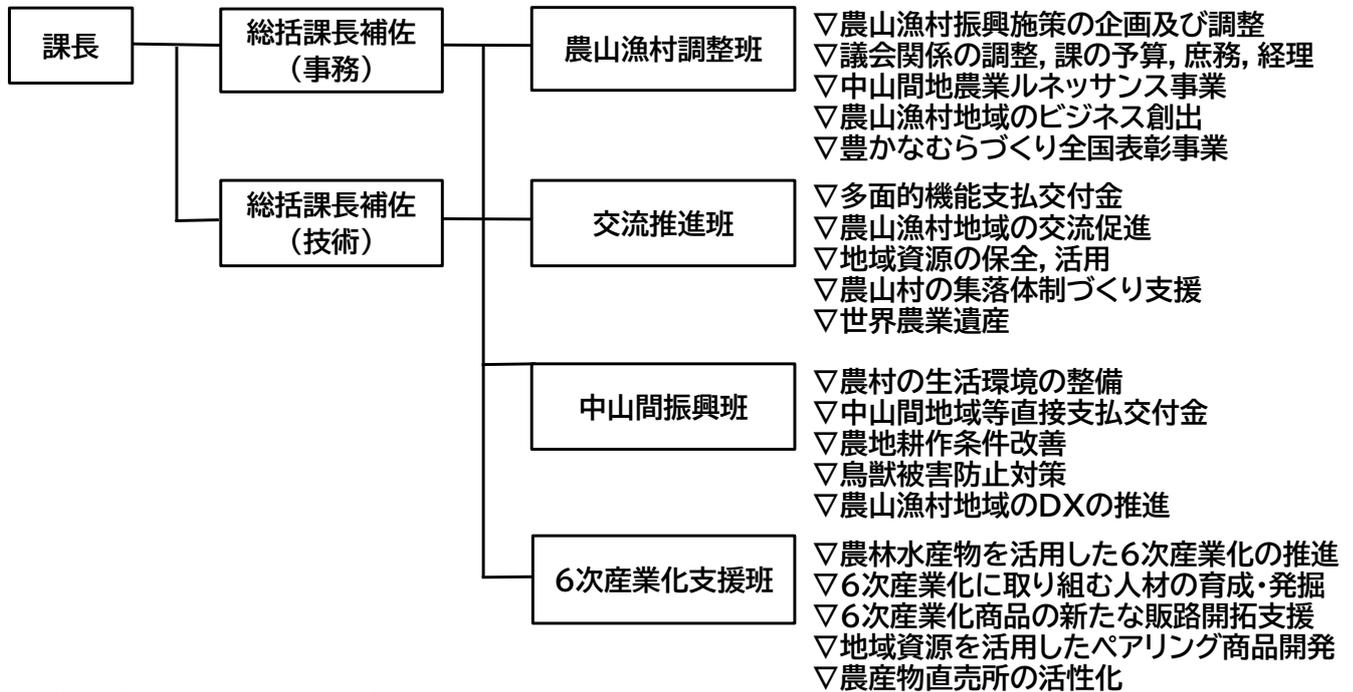
# 令和3年度の農山漁村なりわい課の事業について

## ◎課の目的

私たち農山漁村なりわい課は、人口減少や高齢化が進行する中で、農山漁村を維持し活性化するため、関係人口や移住希望者等に選ばれる持続可能な「活力ある農山漁村」の実現に向けた取組を推進していきます。

具体的には、地域を支える人材や関係人口の育成・拡大を図る取組とあわせて、これらの人材が持続的に地域と関わりが持てるように地域資源を生かした「なりわい」を創出し、雇用機会や所得の確保を図ります。また、野生鳥獣対策や農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るとともに、農山漁村地域において安全で安心した生活ができるよう環境整備や農山漁村地域におけるICTの導入・活用を進めます。

## ◎課の体制



## ◎実施事業 (R2→R3)

No.	担当班	令和2年度	令和3年度	事業概要等
1	6次産業化支援班	農林漁業者等6次産業化サポート事業	継続	6次産業化サポートセンターの設置等
2	6次産業化支援班	食料産業・6次産業化交付金事業	継続	6次産業化の取組に必要な人材育成や施設等の整備を支援
3	調整班, 交流班, 6次化班	令和のむらづくり推進事業	継続	人材育成及び集落機能の強化, 地域資源ビジネスの創出・展開, 農山漁村地域の関係人口の拡大推進
4	6次産業化支援班	加工・直売等6次産業化支援事業	組替・新規	《事業名》地域資源・キャリア人材フル活用事業 農泊等の受入れ体制づくりの支援, 地域コーディネーター人材の育成, 地域資源活用6次産業化支援, 農産物直売所活性化支援
	6次産業化支援班	6次産業化ステップアップ事業		
	6次産業化支援班	みやぎ6次産業化トライアル事業		
	交流推進班	みやぎ農山漁村交流促進事業		
5	中山間振興班	—	新規	《事業名》みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業 農山漁村DXの計画作成と推進体制整備
6	農山漁村調整班	中山間地農業ルネッサンス推進事業	継続	中山間地域を牽引するリーダーの確保・育成
7	中山間振興班	中山間地域等直接支払交付金事業	継続	条件不利地への助成
8	交流推進班	むらまち交流拡大推進事業	継続	農山漁村地域の交流・農泊等の推進
9	中山間振興班	鳥獣害防止対策事業	継続	農作物の鳥獣害防止対策の推進
10	交流推進班	みやぎの地域資源保全活用支援事業	継続	地域資源を活用した地域住民活動支援
11	中山間振興班	農業集落排水整備推進交付金事業	継続	農業集落排水施設維持管理補助(農業集落排水工事の県負担分)
12	中山間振興班	県営農道整備事業	継続	県営農道整備
13	中山間振興班	農村総合整備事業	継続	農村総合整備補助(農業集落排水事業等)
14	中山間振興班	県営中山間地域総合整備事業	継続	中山間地域の生産基盤・生活環境の整備
15	交流推進班	多面的機能支払事業	継続	多面的機能の維持・発揮を図る共同活動支援
16	中山間振興班	農地耕作条件改善事業	継続	きめ細かな生産基盤の整備
17	中山間振興班	農業水路等長寿命化・防災減災事業	継続	用排水路の長寿命化対策〔旧農業基盤整備促進事業〕
18	中山間振興班	中山間地域農地保全支援事業	継続	中山間地域における小規模基盤整備(県単)
19	中山間振興班	農業集落排水施設災害復旧費	継続	農業集落排水施設の復旧(災害関連事業)
(令和2年度終了事業)				
1	中山間振興班	農村総合整備事業(国土強靱化)	終了	農業集落排水施設の長寿命化対策

# 令和3年度 農山漁村なりわい課 施策体系概要

(単位：千円)

事業名等	主な事業内容	予算額 (R3当初)	担当班
I 豊かな地域資源を活かした産業振興と都市との交流拡大		22,193	
1 豊かな地域資源を活かした交流推進		4,293	
①むらまち交流拡大推進事業	《委託料》農泊に取り組む団体や農林漁家民宿等の情報をホームページ等により発信。 《事務費》圏域単位で実施する講演会・意見交換会・シンポジウム、都市農村交流アドバイザーの派遣等。	4,293	交流推進班
2 交流（関係）人口拡大に向けた受入体制の整備		17,900	
①令和のむらづくり推進事業【(3)農山漁村地域の関係人口の拡大推進】	《委託料》▽地域団体や企業等の連携を促進するため、研修会、交流会、企業参画誘致等を実施。 ▽プラットフォーム事務局や地域への情報収集等を行う地域おこし協力隊1名を委嘱。	9,000	交流推進班
②地域資源・キャリア人材フル活用事業	《報償費等》県職員コーディネート人材の掘り起こし及び育成のための研修会等。 《補助金》農山漁村地域における農泊等の受入体制づくりの支援。 《委託料》地域コーディネート人材の育成。	8,900	交流推進班
II 農山漁村地域を支える組織と人材の育成・確保		2,505,781	
1 農村地域の多面的機能の維持・発揮支援		2,206,264	
①多面的機能支払交付金事業費	《交付金》地域の農業者等の活動組織が共同で行う多面的機能の維持・発揮を図る活動に対して交付金を交付。 《委託料》多面活動による地域への波及効果の検証。	2,190,264	交流推進班
②みやぎの地域資源保全活用支援事業	《委託料》地域資源調査や地域住民による話し合い、地域活性化の資料作成及び世界農業遺産の関連施設調査を実施。 《補助金》地域資源の保全活動を行う団体等に対する補助。 《事務費》ふるさと水と土指導員研修会、水土里フォトコンテストの開催等。	16,000	交流推進班
2 中山間地域の農業生産体制維持支援		290,159	
①中山間地域等直接支払交付金事業	《補助金》中山間地域等の条件不利農地を対象とした農業生産活動の継続に対して交付金を交付する。	265,924	中山間振興班
②中山間地農業ルネッサンス推進事業	《委託料》中山間地域の再生・活性化を図るために必要な地域経済循環分析業務を委託。 《交付金》中山間地域における創意工夫あふれる取組を行う市町村に対して経費を助成。 →令和3年度は、1市4町（丸森町、松島町、大崎市、加美町及び南三陸町）を予定。	24,235	農山漁村調整班
3 農山漁村地域における集落機能の強化		9,358	
①令和のむらづくり推進事業【(1)人材育成及び集落機能の強化】	《委託料》▽集落における地域活動の企画・運営支援や人材育成研修等により、集落の自律的な体制整備やリーダーの育成を推進。 ▽地域団体や組織の要望（困りごと）に対して、行政やJAなどのOB人材や企業人による専門的な知識やスキルを活用した応援活動のマッチングを行う既存サイトに県特設コーナーを開設。	9,358	交流推進班
III 「なりわい」の創出・支援による地域内経済循環の推進		45,573	
1 農林漁業者が主体となった6次産業化支援		36,075	
①農林漁業者等6次産業化サポート事業	《委託料》6次産業化サポートセンターを設置し、選定した6次産業化地域プランナーによる農林漁業者等への個別支援を行い、農林漁業者等の6次産業化の取組を支援する。	10,375	6次産業化支援班
②食料産業・6次産業化交付金事業	《委託料》人材育成研修会 《補助金》市町村の6次化戦略策定や人材育成等。 ※R1「農林漁業者等6次産業化加工・直売等支援事業」と「企業との連携による6次産業化支援強化事業」の財源が同じであるため統合（事務作業の効率化）。	8,000	6次産業化支援班
③地域資源・キャリア人材フル活用事業	《事務費》地方振興事務所が農林水産物等多様な地域資源を活用した商品開発や販路開拓支援するほか、研修会等を開催 《補助金等》移住定住者等が取り組む小規模な起業や6次産業するための機器等の補助等 《委託料》6次産業化事業者の新しい生活様式等に対応した商品の改良・開発等を支援するほか、展示販売会を開催し、商品の認知度の向上と販路開拓を支援 《委託料・補助金》農産物直売所の課題等の整理と改善計画書の作成を支援し、改善に必要な機器等の導入に対する補助（新規取組）	17,700	6次産業化支援班
2 農山漁村地域資源ビジネスの創出		9,498	
①令和のむらづくり推進事業【(2)地域資源ビジネスの創出・展開】	《委託料》▽地域運営組織を対象とした地域資源の掘り起こし・保全・磨き上げ・利活用、販売戦略の整備、情報発信等の支援。 ▽地域食材と多様な地域資源によるペアリング商品・サービスの開発の支援。	9,498	農山漁村調整班

IV 安心して暮らせる農山漁村地域の生活環境づくり		1,458,195	
1 農山村地域の生活環境整備支援		794,900	
①農業集落排水事業 (農村総合整備事業)	《補助金》農業集落排水施設の修繕・更新により、施設の長寿命化を図る。	350,784	中山間 振興班
②農業集落排水施設災害復旧費	《補助金》令和元年台風19号の暴風雨により被害を受けた農業集落排水施設の復旧に要する国の災害関連農村生活環境施設復旧事業を実施する市町村に対する国補助金	29,252	中山間 振興班
③農業集落排水整備推進交付金事業	《補助金》農業集落排水施設建設事業費に対する県高上げ相当の後年度に維持管理経費として補助する。	32,480	中山間 振興班
④鳥獣害防止対策事業	《補助金》野生鳥獣による農作物被害を低減させるため、市町村・協議会が実施する侵入防止柵の設置及び捕獲活動の取組を支援する。 ※財源を変更(復興特交→みやぎ環境税)	377,729	中山間 振興班
⑤集落基盤整備事業 (農村総合整備事業)	《補助金》集落周辺の地域における農業生産性向上を図るため、農業生産基盤整備に併せ生活環境整備も一体的に実施する。	4,655	中山間 振興班
2 生産基盤の整備支援		656,295	
①県営農道整備事業	《補助金》農地中間管理事業の重点実施区域等において、きめ細かな生産基盤整備を実施し、集積推進や高収益作物転換を図る。	526,653	中山間 振興班
②県営中山間地域総合整備事業	《補助金》中山間地域の農業生産基盤及び生活環境基盤整備を総合的に行い、農業・農村の活性化を図る。	31,500	中山間 振興班
③中山間地域農地保全支援事業	《補助金》中山間地の国庫補助要件に満たない小規模農地の簡易基盤整備を行い営農継続を支援する。	3,000	中山間 振興班
④農地整備事業(通作条件整備)	《補助金》農業の振興を図る地域における農道網(通作条件)の整備・補修。	21,000	中山間 振興班
⑤農業水路等長寿命化・防災減災事業	《補助金》市町村・土地改良区が行う農業用排水路の長寿命化対策等を支援する。	74,142	中山間 振興班
3 農山漁村地域のデジタル化の推進		7,000	
①みやぎ農山漁村デジタルトランス フォーメーション推進事業	《事務費》みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション(以下、DX)推進協議会の設置・運営。 《委託料》モデル市町村(地域)を2箇所設置し、地域の実情に合ったデジタル技術を活用したDX地域戦略計画を策定するとともに、地域住民等の理解促進体制づくりを支援する。	7,000	中山間 振興班
小 計 (I~IV)		4,031,742	
V 人件費・事務費等		135,941	
1 人件費		133,878	
2 事務費		2,063	
合 計		4,167,683	

# 令和のむらづくり推進事業の概要

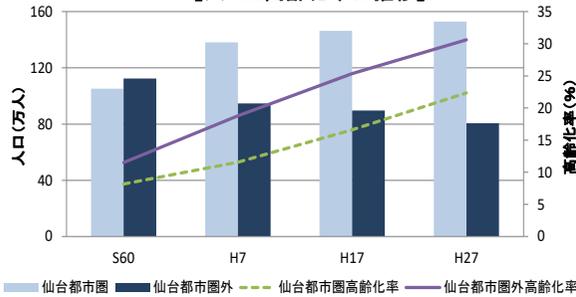
令和3年4月1日  
農山漁村なりわい課

## 現状・課題

(農山漁村地域)

- ・高齢化や人口減少の急激な進行
- ・耕作放棄地の増加, 地域資源の遊休化
- ・共同活動の存続の危機, 集落機能の低下
- ・誇りの空洞化(あきらめ感)の蔓延

【人口と高齢化率の推移】



## 解決方向

地域を支える多様な人材の育成・確保などにより農山漁村地域の活性化を図る

ひと

・地域における人材育成(女性や若者の役割)と集落外人材の活用による体制整備

もの

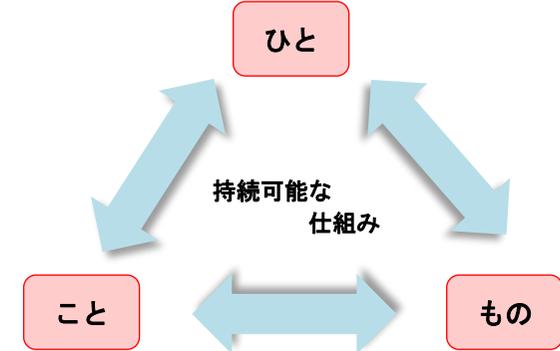
・地域資源の発掘や磨き上げによる地域ビジネスの創出やペアリングによる商品開発

こと

・交流の受入体制の整備によるインバウンド等の交流人口の拡大から地域との関係人口の拡大へ

## 対策と展開

令和のむらづくりの展開



(成果) ・広域的な地域間連携 ・多様な人材の育成確保  
 ・地域ビジネスの創出 ・地域運営組織の法人化等  
 ・関係人口の拡大 ・多様な情報への対応  
 ・プラットフォームの自発的活動への展開 など  
 ・企業版ふるさと納税や副業人材の活用等検討

## 事業内容 (R3年度)

事業費 27,856 千円 (国庫 11,885 千円, 一財(真水) 11,971 千円, 一財(特交) 4,000 千円)

### 1 人材育成及び集落機能の強化 【9,358 千円】

ひと

- (1) 集落における人材育成・体制整備 (集落における地域活動の企画・運営支援や人材育成研修等により, 集落の自立的な体制整備やリーダーの育成を推進)
- (2) 応援人材のマッチング (地域団体や組織の要望(困りごと)に対して, 行政やJAなどのOB人材や企業人による専門的な知識やスキルを活用した応援活動のマッチングを行う既存サイトに県特設コーナーを開設)

### 2 地域資源ビジネスの創出・展開 【9,498 千円】

もの

- (1) 地域運営組織等によるビジネス創出 (地域資源の掘り起こし・保全・磨き・利活用, 販売戦略の整備, 情報発信等の支援等)
- (2) 地域資源ペアリングの推進 (地域食材と多様な地域資源によるペアリング商品・サービスの開発の支援等)

### 3 農山漁村地域の関係人口の拡大推進 【9,000 千円】

こと

- (1) 農山漁村交流拡大プラットフォームによる事業者マッチング (地域団体や企業等の連携を促進するため, 研修会, 交流会, 企業参画誘致等を実施)
- (2) 地域おこし協力隊による運営支援<特別交付税措置> (プラットフォームの事務局や地域への情報収集等を行う地域おこし協力隊(1名)を委嘱)

県内へ拡大

農山漁村のなりわいの創造  
 『住む人が誇りと生きがいを感じる事ができるむらづくり』

農山漁村地域では、人口減少や高齢化の進行に伴い、過疎化や担い手不足により地域の生産活動や協働活動の低下など様々な課題を抱えている。一方、都市部においては、「二地域居住」や「半農半X」など、多様な働き方・ライフスタイルの進展により、農山漁村地域に対する関心が高まっており、この機会を捉えて、都市部から人の流れをつくり関係・交流人口を生み出す受入れ体制の整備が重要となってきている。本事業では、地域に暮らしながら地域を支える人材の育成を支援するとともに、地域外の多様な人材が持続的に地域と関わりを持つ仕組みづくりを支援し、関係・交流人口の拡大を図る。

目標の姿 地域外人材との連携，受入れ体制の強化による関係・交流人口の拡大  
数値目標 新たな関係・交流人口の受入れに取り組む団体数 6 団体

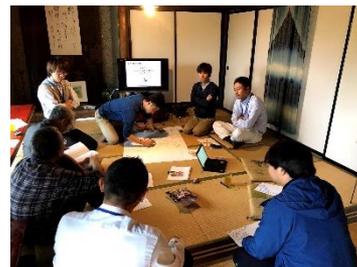
現状

【地域】

- ・人口減少・高齢化
- ・地域をコーディネートする人材の不足
- ・受入れ体制が整っている地域が少ない

新たな視点

- ・県職員の人材育成を兼ねたパラレルキャリアの形成
- ・ウィズコロナ，アフターコロナを見据えた農泊や交流活動の見直し，関係人口の変化への対応，機能の強化（ワーケーション，二地域居住，半農半Xなどへの対応）



地域内外の人材を取り入れる仕組み  
受入れ体制の見直し，強化が必要（ICTの活用，活動方法の見直し）

〈ソフト：一財〉

**県職員地域コーディネーター人材の掘り起こし・育成**

【県職員パラレルキャリア・モデル事業】400千円

- ・現職県職員をボランティア等として農山漁村地域へ派遣（インターンシップ）
- ・人材育成研修の実施

〈ソフト：地方創生〉

**都市部人材や企業連携に必要な地域コーディネーター人材の育成**

【都市部人材・企業連携コーディネーター育成事業】3,500千円

- ・地域合意形成を図るためのファシリテーター講座の開催
- ・県内実践者セミナーの開催

〈ソフト：地方創生〉

**農泊や企業との連携に取り組む地域を支援**

【関係・交流人口受け入れ体制強化事業】3,000千円

- ・農泊等の受け入れ体制づくりに必要な事業（モニターツアー、合意形成ワークショップ等）の費用を補助

# 地域資源・キャリア人材フル活用推進事業

【令和3～6年度】

農政部農山漁村なりわい課 6次産業化支援班

(地域資源活用6次産業化支援・農産物直売所活性化支援)

農山漁村の地域資源が持つ潜在力を再発見・確認し、他産業や地域全体で連携や、地域の魅力を発信できる移住者や若者等の「新しい発想のビジネス」の支援し、小さくても強い・個性と魅力ある経営体を育成する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大やICT等の進展に併せ、6次産業化事業者の新商品開発や販路開拓を支援する。さらに、地域の活動拠点としての「農産物等直売所」の新たな役割と機能を強化し、農山漁村の活性化を推進する。

目標の姿  
数値目標

「賑わいのある農山漁村」「儲かる農林水産業」の実現！  
付加価値額を1.5倍に向上  
付加価値額＝経常利益＋人件費＋減価償却費

ヒト (移住者, 若者等)

地域資源

モノ (農林水産物等)

コト (文化, 伝統等)

チエ

多様な人材の  
新たな発想・ヒラメキ

現状

- ・総合化事業計画認定数 81件
- ・売上1億円以上 131経営体
- ・地域産業資源認定数 324件  
うち 農林水産物 94件



新たな  
視点

- ・農林水産物に限定しない多様な地域資源の活用
- ・食品製造業(2次), 観光業(3次)との積極的な産業間連携
- ・多様な人材(移住者等)のアイデアとネットワークの活用
- ・新生活様式への対応 (Web活用など)

地方発, 愛されるブランドづくり  
「モノ」だけ売るのはなく,  
「ヒト」も, 「地域」も売る!

〈ソフト：一財〉  
各圏域での資源発掘,  
人材育成等の芽づくり

- 【みやぎ地域資源の魅力発見活力向上事業】2,233千円
- ・地域の「芽」づくり支援事業(圏域事業)
- 実施箇所数：5地域(事務所)
- ・地域資源活用サポート事業(県事業)

〈ハード+ソフト：地方創生〉  
地域資源を活用した  
「小さくても強い事業体」の創業支援, 育成

- 【みやぎ農山漁村スモールビジネス支援事業】4,800千円
- (ハード1,500千円+ソフト100千円)/件×3件)

〈ソフト：地方創生〉  
新生活様式や社会ニーズへ対応した商品・サービスの改良

- 【みやぎ6次産業化リノベーション支援事業】9,167千円
- ・6次産業化事業者のコロナウィルス感染症拡大に伴う新商品開発等の指導助言
- ・6次化商品の展示販売による商品のブラッシュアップ, 新たな販売チャネルの展開支援

〈ソフト+ハード：地方創生〉  
農産物直売所の地域拠点化のためのIoT等活用の推進

- 【農産物直売所機能強化支援事業】3,500千円
- ・現状分析, 改善提案, 指導・助言
- ・施設改良, 機器整備等の補助
- 1/2以内(上限1,500千円)

# みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業（R3～R6） 農政部農山漁村なりわい課

中山間地域を含む農山漁村等の高齢化や住民の減少による産業・生活基盤の脆弱化や鳥獣被害対策などの課題を解決するため、**農山漁村全体をデジタル化**し、連携させる「**デジタルトランスフォーメーション(DX)**」の構築を推進し、『**生活しやすく、定住しやすい農山漁村の実現**』、『**儲かるビジネスの創出・成長**』を促進する。

## 1 みやぎ農山漁村DX協議会の設置・運営

予算額：1,000千円

- ・農山漁村DX協議会の設置・運営  
(対象：市町村、関係機関)
- ・農山漁村DX人材育成研修会・勉強会の開催
- ・農山漁村DX支援計画の作成

## 2 みやぎ農山漁村DXモデル地域の設置

予算額：6,000千円 (3,000千円/箇所×2市町村)

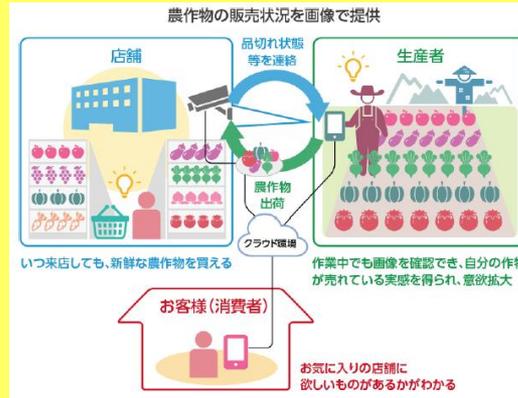
- モデル市町村の設置
  - ・地域検討会の設置
  - ・農山漁村DX地域戦略計画の作成

- DXを推進するリーダーの育成
- 他産業・他地域との連携による  
新しいビジネスの創出

### 農山漁村生活への展開

- ・農業インフラと生活インフラの統合的な整備・管理
- ・農業データを活用した生活支援サービス
- ・農業行政事務の効率化

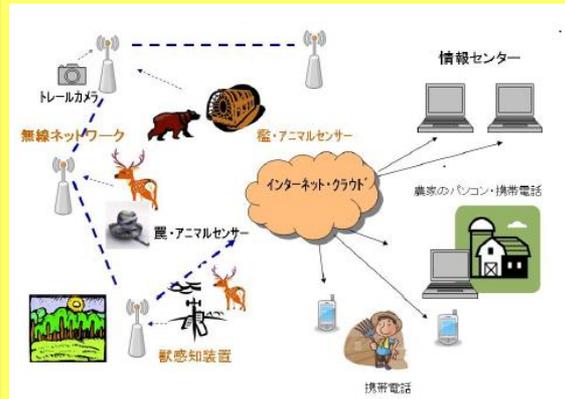
### (農産物直売所機能強化のデジタル化イメージ)



- ・リアルタイムでの販売状況の配信 (欠品の解消)
- ・生育情報等のWEB発信
- ・受発注管理による廃棄削減

- 農家収入の向上
- ブランド力の向上
- 農作物廃棄ロスの減少
- 新たな食品サプライチェーンの構築

### (鳥獣被害対策のデジタル化イメージ)



- ・監視カメラ、センサーによる鳥獣の防護柵の維持管理の効率化
- ・捕獲情報のリアルタイム配信
- ・アプリで目撃情報のマップ化

- 農作物被害の削減
- 捕獲頭数の増加、効率化
- 防護柵等の維持コスト削減
- 鳥獣事故の減少

## デジタル技術・インフラを最大限活用！

## 地域活性化に向けた次のステップへ

スマート農業技術による生産性向上，都市と農山漁村の交流，移住・定住の促進，自然災害の監視体制強化など

目標の姿：多様な人材の知恵と情報が融合し、活力と魅力のあるみやぎの農山漁村